

美山特ニット特養ホーム

上の写真は、入居者様と職員が風船バレーをしているところです。入居者様の楽しそうな表情が印象的です。

下の写真は、入居者様と体操をしているところです。大きく胸を広げた



美山特養ホームでは、入居者様の日々の生活が、より豊かになることを願い、レクリエーションに力をいれています。

その一部をご紹介致します

新規申し込み者	特養入居者
8月 0	7月 0
0	6月 1
0	月 介護度 2
0	3
2	4
0	5
2	計 1
0	2
0	3
0	4
1	5
0	計 4
1	5
0	計 4



今年の夏は全国各地で猛暑となりました。経験したことのない夏を過ごして来ましたが、施設の中は空調が完備していますので、快適に過ごして頂けていると思います。

夏の花を植えようと取組んでいます。素人なので、思う様に育ちませんが、けなげに葉を広げ、つるを伸ばします。トマトも実りました。

上の写真は、入居者様と職員が風船バレーをしているところです。入居者様の楽しそうな表情が印象的です。

下の写真は、入居者様と体操をしているところです。大きく胸を広げた

り、縮めたりできる範囲で身体を動かしています。これからも入居者様に楽しんで頂けるようなレクリエーションを考え、提供させていただきたいと作成数を報告致します。

美山居宅支援センター

美山短期ニットサービスセンター

美山短期ニットサービスセンター

6月
45件
7月
46件
8月
43件

『研修報告』

6月7日「切れ目」のない終末療養支援とは」をテーマにした三浦市立病院での公開講座へ参加致しましたのでご報告します。

疼痛・呼吸苦等を訴える末期癌患者とその家族に向けて在宅診療の介

入時期についての意思決定支援に関

する事例を通して参加者で意見を交

換しました。強引にはできない、ペー

スが合わない等の振り返りがありました。

死を支える場面は生を支える場面

であると踏まえますと、言わないでい

る事の奥にある、患者・家族が気づいていない「言えないでいる」ことに私

達は気づくべきであり、引き出して聴

くべきである、そのような援助技術がよりよく生きる支援になっていくと

学習しました。

エンドオブライフケアに臨む際に

は、意思決定支援を行える援助者になります。

（文責・松崎）

美山通所介護サービスセンター

活動報告状況

8月	7月	6月	月
242人	248人	238人	延利用人数
20日	22日	21日	延日数
12.1人	11.9人	11.8人	1日平均人数
7人	9人	8人	要支援1
36人	37人	38人	要支援2
66人	64人	62人	要介護1
73人	71人	67人	要介護2
50人	52人	49人	要介護3
14人	14人	13人	要介護4
0人	1人	1人	要介護5
242人	248人	238人	計

- 「生き夫に　問いつ答つ　彼岸月」
- 「秋深く　虫の声聞く　なごやかさ」

ご利用者がレク活動にて作った俳句をご紹介いたします。

（N・K）